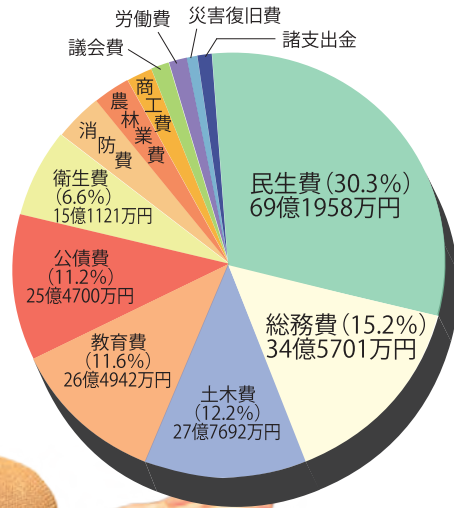
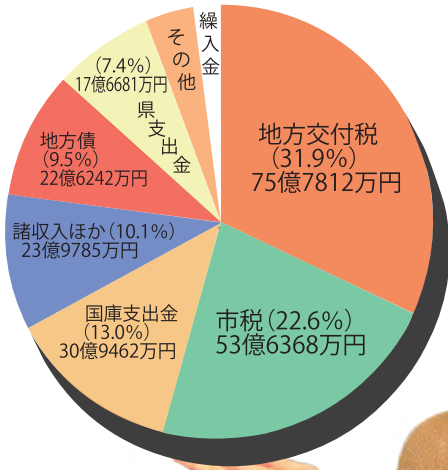


市の財政は大丈夫？

歳出総額 227億9793万円
(市民1人あたり約45万円)



歳入総額 237億6031万円
(市民1人あたり約47万円)



平成23年度
武雄市の一般会計決算です
12月議会で審査・認定されます

財政課/水町 亜矢子

一般会計は、みなさんからの税金などを財源として、福祉・教育・まちづくりなど市の基本的な行政運営を行う会計です。

自主財源が増加

市が独自に確保できる自主財源(市税・諸収入ほか・繰入金)は前年度比で1億6532万円(2.1%)増加しました。主な自主財源となる市税は、法人税割の増加による市民税の増や、税率改正に伴うたばこ税の増

◆特別会計決算

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	60億3883万円	64億4691万円	△4億808万円
後期高齢者医療	5億3136万円	5億2851万円	285万円
農業集落排水事業	7億1313万円	7億719万円	594万円
公共下水道事業	3億6681万円	3億6675万円	6万円
戸別浄化槽事業	2億6251万円	2億5917万円	334万円
土地区画整理事業	4億6579万円	4億5890万円	689万円
競輪事業	120億1201万円	116億5284万円	3億5917万円
給湯事業	2326万円	1930万円	396万円
新工業団地整備事業	10億1721万円	10億1703万円	18万円

※国民健康保険特別会計の赤字は、平成24年度予算で対応

厳しい国保財政

料収入などにより特定の事業を行う場合に経理を明確に区分するため、一般会計とは別に設けた会計です。

ほか、徴収率アップなどで2億4212万円(4.7%)増加しました。歳出は福祉関係が1位

歳出を目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が全体の4分の1以上を占めています。社会保障費の増大に伴って、今後も増加していく見込みです。

企業会計決算

地方公営企業法の適用を受けて独立採算を行う会計です。

◆企業会計決算

区分	収入	支出	差引	
水道事業	収益的	12億3362万円	10億9315万円	1億4047万円
	資本的	8907万円	5億2679万円	△4億3772万円
工業用水道事業	収益的	6433万円	3861万円	2572万円
	資本的	0	3783万円	△3783万円

※両会計の資本的収支の赤字は、内部留保資金で対応

今後は国に頼りません

市の借金にあたる市債(臨時財政対策債を除く)の残高は、平成19年度と比べて約73億円減っていますが、合併特例債などの借入が増加し、前年度より約1億円増加しました。また、健全化判断比率(実質公債費比率11.6、将来負担比率30.2)や資金不足比率(いずれも黒字)などの指標は基準内をキープしています。しかし、今後は普通交付税など歳入の減少が見込まれていることから、楽観できる状況ではありません。より一層の経費削減と効率的な財政運営に努めていきます。

◆市債と基金の残高

